城山エコえもん H.18年かべ新聞

2006年 12月2日(土) 青少年の主張

環境へ心配りなど訴え
東員 小中学生の主張発表会

身近な環境問題を取り上げて発表する城山こどもエコクラブの4人＝東員町総合文化センターで

東員町青少年育成町民会議主催の「青少年の主張」発表会が二日、同町山田の町総合文化センターで開かれた。

子どもたちがいま何を考え、何を感じ、何を訴えようとしているのかを、大人たちに知ってもらおうとの狙いで、今回で十三回目。応募した町内の小中学生十二組の十五人が発表した。

テーマは人権問題、いじめ、部活動、環境保護、リサイクル活動など。

城山小学校の「城山こどもエコクラブ」の四人は「自分が思うエコ」と題し「自然破壊がもたらす近隣環境への心配りの大切さを訴えた。

一人ずつの発表。手塚寿明君（三年）は「なぜ、たばこのポイ捨てをするのかが不思議です」と、身近な環境への心配りの大切さを訴えた。（安藤正雄）

城山こどもエコクラブは平成十五年度から活動を始めました。自然に近いところで、いろいろ遊んで学びながら環境を大切にする活動をしています。

今年は稲田で田植え・草取り・稲刈りをした時、城山地内や中部公園の川の清掃を行い、花壇に色とりどりのパンジーを植えました。

「青少年の主張」は昨年に続いて二回目の出演です。この後は壁新聞作りなどに取り組みます。

「リサイクル」の大切さ

城山小6年　田中裕貴

ぼくは「リサイクル」のことについて話します。ぼくがしたことのある「リサイクル」は、学校での牛乳パックのリサイクルや、古ペットボトルをリサイクルしたことくらいしかありませんでした。でも、こどもエコクラブの城山エコえもんの活動で、あき缶回収をしたりしました。そのあき缶のプルタブをとって、そのアルミクズのお金で車イスを施設に送ろうということもしました。

家から出るゴミの量は多いです。テレビで見たことだけど、ペットボトルなどを使って、風車や花植えの鉢を家庭で作っていました。ぼくは、あんなのはガラクタだと思っていました。だけど、ゴミの出る量を見ていると、ペットボトルで風車を作ると、そんなゴミのことも、ゴミの量としては家庭でつくると思いました。それで、家から出るゴミを少しでも減らせたらと思う。多くの家庭が自分にできるリサイクルをして、環境に良い町づくりになればいいと思います。

だから、ぼくもできる限りの「リサイクル」をしていきたいと思います。

「環境」について学んだこと

城山小6年　手塚島美

わたしが今年、環境についてやったことについて話します。わたしが行ったことは大きく2つあります。

ひとつ目は、夏休みにやった環境調査です。調査内容は、酸性雨と水の汚れについてでした。実験の結果、ここ東員町に酸性雨がふっていることが分かりました。水のよごれ調査では、牛乳をすいだ水のBODは100ppmでした。魚が住める水は五ppm以下なので、牛乳など流さないようにしたいです。

ふたつ目は、環境日記です。最初は三ケ月も書かなくちゃいけないので、めんどくさいなあと思っていたけど、これも環境のためとがんばりました。書いているうちにいろんなことが分かりました。例えば、夏にアサガオのカーテンを作ると、日差しがひどくなると、見るだけでも涼しくなります。

このようなちょっとしたことでも、環境にいいことにもなります。でも反対に、ちょっとしたことでも、よくないこともあります。

なので、このちょっとしたことに気をつけてほしいと思います。

自分が思うエコ

城山小3年　手塚寿明

はじめに、ぼくがエコクラブのみんなでやった自然に良いことは「ゴミ拾い」です。

ゴミ拾いは地味でやさしいと思いました。城山の二丁目のバス停でも、タバコのすいがらやいろいろなものが捨てられていました。なぜ、ポイ捨てをしてしまうのかが不思議です。だれかが拾うと思っているのでしょう。自分もポイ捨てをしたことがあります。だけど、ゴミ拾いのときに拾っていて、自分は決してまだだなあと思いました。エコクラブに入ってからはポイ捨てはしないように気をつけているので、いまではぜんぜん外ではしていません。家の中では、まだ、ゴミを散らかしています。お母さんにおこられて、自分はバカだなあと思いました。

次に、家で環境にやさしいことをしようと思いました。夏のとき、クーラーは二十八度に設定をしていました。

これからも、エコクラブで地球を大切にしようと思いました。

自然破壊がもたらす力

城山小6年　伊藤聖美

私が「環境」という意味を知ったのは、エコクラブに入ったからだと思います。空気や水を汚すことは、私たちの健康にもかかわってくる事と知りました。

自然破壊は一人一人の考え方で変わると思います。近頃、私の周りには人間にとっては便利な店が次から次へとできてきました。でも、その場所は、もとは一つの山であり、林だったのです。それを削して、それは出来たのです。こうしているうちに次々と、あっという間に建物が出来できています。

今、私が住んでいるところは、まだまだ自然が残っていて、その中には貴井川や、朝明川があります。でも、その川も去年とはぜんぜん違って、川の流れが変わり、川底もヘドロで汚れている中で小さな魚が泳いでいました。魚たちもきれいな水が流れてくることを願っているでしょうし、そうなることで、きっと健康にいいんだろうなと思います。人間にとっての空気や水は、水を飲むことと同じことだと思いました。河原にはバーベキューをした後のゴミが、そのまま捨ててあり、割れたビンとかが矢山ありました。なぜ、こんなことが平気でできるのでしょうか。

私は、大人のみなさんにも、もっと環境について学んでほしいし、自然を気にかけてほしいと思います。環境のことは学校でも教えてもらいました。自然を破壊することはすぐにできますが、自然を取り戻すことはすぐにはできません。環境をすぐ良くするということに大人も子供もっと知り、自然の怖さを知ることがとても大切だと思います。

今、私たちの住む地球は温暖化が急速に進み、そのせいで、自然災害が大きくなり、人間が生きるためにしてきたことが、地球からしっぺ返しを受けているように大きな被害を生み、まるで自然と人間の追いかけっこみたいです。自然を破壊しているのは私たちということを、もっと考え、一人一人の問題だと思ってほしいです。「環境」という字は、この先も一番難しい言葉と考え、この文字の重さを知ってほしいです。

上に書いたように わたしたちは、みなさんも環境に良いことをしてほしいと願っています。これから環境にやさしくしましょう!!

←協力して制作中

かべ新聞を作ったよ。
みなさん、見てネ!!
やっと出来ました。→
ヤッター!!

田植え・稲刈りの活動
（北勢町白滝 棚田にて）

2006.6.4

二人で水の中の生き物を探しました。

2006.6.4

みんなで、田植えをしました。手足がドロドロになって大変だったけどがんばったよ〜

やっと休けい時間！みんなでおやつとかを食べたよ！

2006.10.21

おじいちゃんたちの田んぼすごく大変そう…。

棚田のみなさん、ホントにお世話になりました。

小屋で焼きいもを食べたよ！おいしかったなぁ〜。

がんばってみんなでいねを、かったわ!!

中部公園での活動 2006年編

2006年 6月17日

まず、城山二丁目、三丁目の歩道のゴミ拾いをしました。そしたら、スーパーぶくろいっぱいのゴミがあって、すごかったあ。ポイ捨てはやめましょう!

その後に、かきクラブのみなさんに花の植え方を教えてもらいました。土をまぜあわせて花を植えて、もって帰りました。かきクラブの人は、世界中がいっぱいになってほしくて、いろんな所に植えてくれてるので 私達も、がんばって花をいっぱい植えよう!

花で絵を書いたよ。マリー©とエコと訪エコクラブのエコを取ってアートしたよ。マリー©

2006年11月18日

NPO法人「生ごみリサイクル思考の会」のみなさん、いつも たくさんの応援を ありがとうございます。

2006年 6月17日

中部公園の川の中にあるゴミを拾いました。

「ゴミを拾っていたらカメが出てきたよ〜」。かわいい〜。

川の中から、こんなにゴミが出てきました。

ゴミはきちんとゴミ箱に捨てよう!

こどもエコクラブ全国フェスティバル in よこすか	クラブ所在地 三重 都道府県 東員 市区町村
（全国事務局使用欄：記入しないでください）	クラブ名 城山エコえもん